

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|----|----------------|
| ○事業所名 | アソベル袋井駅前 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年1月5日 | | ～ 2026年2月1日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 28 | (回答者数) 23 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年1月5日 | | ～ 2026年2月1日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 2月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 児童を取り巻く環境や機関(学校・家庭・相談員)と連携を取りながら切れ目のない支援を行う事ができています。児童個々の様子を連続性を持って観察し、支援や療育に繋げることができています。 | 個人情報保護の観点に留意しつつ、児童の課題や成長をその児童に関わる方たちと共有し学校等で統一化した支援を行うことが出来るように心掛けています。 | 児童が社会生活を送る中で困り感や疎外感を感じた際にサポートが出来るような支援体制を保護者や学校などと連携しながら構築していきます。 |
| 2 | SSTや体幹トレーニング、言語学習など生活スキルを高めるためのレクリエーションを実施し、児童個々の目標を定めて計画を立てながら支援をしています。 | SSTや言語学習を通して相手の気持ちと自分の気持ちを認知する事、それを正しく伝え受け止める事、違いを認め合う事の大切さを学んでいます。体幹トレーニングでは体の正しい使い方を楽しく会得出来るように支援しています。 | 児童が達成感を味わい、自己肯定感を高めることが出来るように楽しく取り組めるトレーニングを今後も追加して行きます。 |
| 3 | 買い物体験や交通公共機関の利用など様々な地域資源を活用する経験を増やし、社会生活を送る上で求められるスキルを養えるプログラムを策定しています。 | レクリエーションで「アソベル商店」と題して駄菓子屋さんを実施し、お金の計算をしながら買い物トレーニングを行っています。実際のお店でトレーニングの成果を発揮することも出来ています。お金の大切さも同時に学び、物やお金を大切にすることが出来るようにしています。 | 引き続き生活スキルの向上に資するレクリエーションや学びの機会を様々な社会資源を活用しながら支援を行います。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 現在、職員室としての個室はありますが、気持ちが崩れてしまった際に安全を確保し、落ち着ける児童専用の個室がありません。崩れた際には1対1で職員室でクールダウンをしています。 | 室内の環境レイアウトに改良の余地があると考えます。 | 室内環境の変更等、児童にとって落ち着ける空間を提供出来るように変更します。 |
| 2 | 児童の就労に直接つながるような支援体制が整っていません。 | 小学校低学年の児童が利用児童の構成の8割を占めている為、中学生や高校生の利用がありません。 | まずは小学校高学年を対象に施設内でできる就労体験レクリエーションを実施していきたいと思います。 |
| 3 | | | |